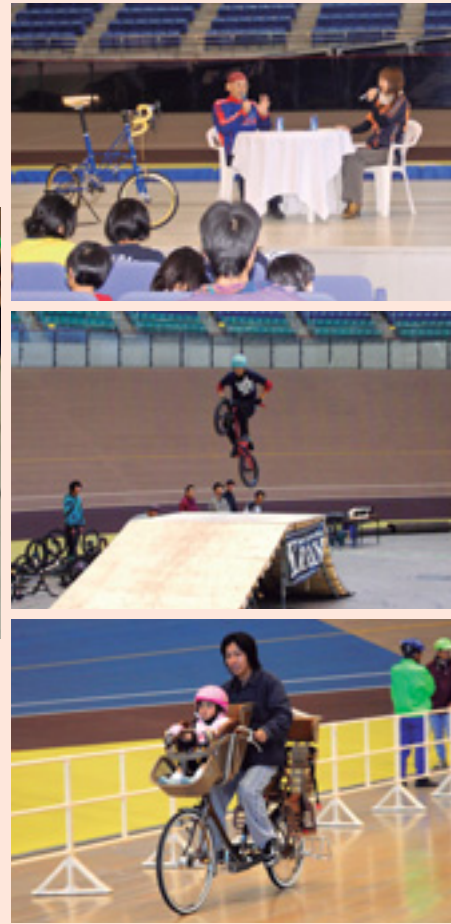


グロースアップ



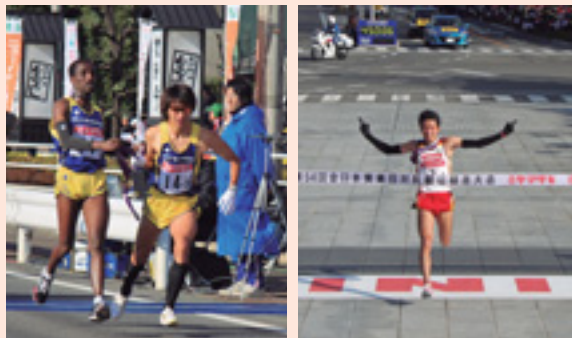
明日のために自転車のある生活

グリーンドーム前橋で12月23日、まえばしサイクルフェスタ2009を開催。作家の高千穂遥さんのトークショーやBMX（バイシクルモトクロス）のパフォーマンスショー、おもしろ自転車や3人乗り自転車の試乗などが行われました。環境にも健康にも優しい自転車を楽しみました。



元旦の上州路を駆け抜ける

1月1日、県庁前を発着点に全日本実業団対抗駅伝競走大会が開催されました。元旦の風物詩として定着したこの大会に、地区予選を勝ち抜いた37チームが集結。7区間計100kmで熱き戦いが繰り広げられました。沿道に詰め掛けた人たちは大きな声援を送り、選手たちの背中を後押ししました。



いきいき まえばし人



計量標語コンクールで市長賞
萩原 重夫さん・77歳
昭和町一丁目

自然の中で心を落ち着け作品を練る

計量標語コンクールで、51作品の中から最高賞である市長賞に選ばれた。このコンクールは、市民に計量の大切さを知ってもらうために行われている。

「これまでにも何回か入賞したことはありますが、市長賞は今回が初めてです。忙しくて、なかなか作品ができず、今回は応募を見合わせようと思っていました。締め切り間近に作品ができたので応募しました。思いがけなく市長賞をいただき、身に余る光栄です」

受賞作品は「安心と 信頼築く 正しい計量」。はかりを大切に扱い、正確で間違いがない計量を心掛けることで店と消費者の間に信頼関係が生まれる。そこから人と人とのコミュニケーションが広がることを願っています。

「子どものころから短歌や俳句が好きでした。現在は自宅前の公園で、青空を見たり鳥の声を聞いたりしながら心を落ち着けて、作品を練ります」

休日は、大好きな赤城山の油絵を描きに出掛けることも多い。そういう時にも作品のアイデアを思い付くことがあるため、いつもボールペンと紙を持ち歩いている。最近は健康維持のため、朝は散歩をしたり、友人と体操をしたりしている。

「受賞の記事を新聞で見たと、友人たちからも祝福を受けました。大変ありがたいことです」

これからも、ずっと健康で旺盛な好奇心を持ち、素晴らしい作品を作りたいです。

わたしたちの学校 ニュース



広瀬中

地域と協力して

「おはようございます」

広瀬中の1日は、生徒会・先生・保護者や民生児童委員・更正保護女性会の皆さんなど、地域の人々との校門前での気持ちの良いあいさつでスタートします。あいさつは、先輩から引き継がれている本校の伝統です。

また、年4回実施されるPTA有価物回収では、地域の人々からたくさん新聞紙や雑誌などを出してもらいます。有価物回収には全校生徒が参加。保護者や生徒、地域が協力し合って行われています。



地域を花でいっぱい

このように、地域の人のために大変お世話になっていいる本校。

日ごろの感謝の気持ちを込めて、地域の銀行や郵便局、老人福祉センター、バス停などにプランターの花を届けています。これは、花いっぱい運動の一環として行っているもので、地域の人たちに大変喜んでもらっています。さらに、報道ボランティア部が中心となり、公民館行事へのボランティア参加や老人福祉センターへの訪問など、奉仕活動にも積極的に取り組んでいます。本年度の夏休みは吹奏楽部も訪問し、お年寄りに楽器の演奏を楽しんでもらいました。

広瀬中は生徒数が少ない学校ですが、これからも地域と共にみんなが協力し、みんなのできる「奉仕」を実行していきます。



演奏を届けます

生徒会長 吉澤 瑞希さん